

いわき市災害公営住宅整備事業について

1 整備目的について

東日本大震災により住宅を失い、個人で住宅を再建することが困難な被災者に対し、一日でも早く安定した生活を確保してもらうために災害公営住宅を整備する。

2 入居資格要件について

次の(1)から(3)までの条件をすべて満たす方が対象。

(1) いわき市から東日本大震災による「り災証明」の交付を受けている方で、次の①又は②に該当する方

① 「り災証明」が全壊、全焼、流出である方

② 「り災証明」が大規模半壊・半壊で通常の修繕では居住できない等の理由により、解体することを余儀なくされた方

(「震災復興事業」に伴い解体することとなった方を除く)

※ 「震災復興事業」とは都市区画整理事業、都市計画法の認可を受けて行う道路整備事業等をいう。

(2) 現に居住できる持家がない方

(3) 暴力団員でない方

※ 被災者生活再建支援制度加算支援金(賃借を除く)受給されている方は、申込みことができない。

3 全体の整備予定戸数及び整備場所の選定について

平成 24 年 6 月及び平成 25 年 3 月に、災害公営住宅に入居資格のある世帯を対象に行ったアンケートの結果に基づき、1,512 戸の災害公営住宅を整備することとする。

整備箇所の選定につきましては、まず、津波被災地区については、震災前、当該地区に居住していた多くの被災者の方々が従前地に入居を希望していたことから、地域コミュニティの回復等を考慮し被災地に近接した場所に、また、内陸部の地区については、病院や学校に近い場所に入居を希望している被災者の方が多いことから、利便性などを考慮した場所に、それぞれ整備することとする。

4 集合住宅及び戸建て住宅の整備方針について

被災者の安定した生活を一日でも早く確保するためには、まとまった数の災害公営住宅を早急に整備する必要があることから、集合住宅を基本として整備することとする。

なお、戸建て住宅については、集合住宅に比べ約 2 倍の敷地面積が必要となるため、数多くの戸建て住宅を整備するためには、さらに用地を取得しなければならないことや、維持管理費についても割高となるなどの課題があることから、全体整備戸数の 1 割程度(約 150 戸)を地区間の格差が発生しないよう考慮し整備することとする。

災害公営住宅整備予定箇所

1.災害公営住宅(久之浜団地)
[集合H27.2 戸建H27.12入居開始予定]

2.災害公営住宅(四倉団地)
[集合H26.7,10 戸建H26.10入居開始予定]

3.災害公営住宅(北白土団地)
[H27.11入居開始予定]

4.災害公営住宅(作町団地)
[H26.10入居開始予定]

5.災害公営住宅(沼ノ内団地)
[H26.4入居開始予定]

8.災害公営住宅(内郷雇用促進住宅)
[H27.10 H28.3入居開始予定]

6.災害公営住宅(薄磯団地)
[集合H26.6,10 戸建H26.10入居開始予定]

7.災害公営住宅(豊間団地)
[集合H26.6,10 戸建H26.10入居開始予定]

9.災害公営住宅(常磐湯本団地)
[集合H28.1 戸建H27.11入居開始予定]

10.災害公営住宅(常磐関船団地)
[H26.3.1入居開始済]

11.災害公営住宅(小名浜団地)
[H27.11入居開始予定]

12.災害公営住宅(佐糠第一団地)
[H27.10入居開始予定]

13.災害公営住宅(佐糠第二団地)
[H27.10入居開始予定]

14.災害公営住宅(錦団地)
[H26.4入居開始予定]

15.災害公営住宅(勿来四沢団地)
[集合H27.1 戸建H27.12入居開始予定]

16.災害公営住宅(勿来関田団地)
[H27.1入居開始予定]

凡 例	
行政界	———
高速自動車道	—————
一般国道	—————
主要地方道	—————
一般県道	—————
都市計画区域	—————
市街化区域	—————

1:200,000 (1:200,000) 1km=0.5cm

災害公営住宅の予定地区と整備予定戸数等について

地区名	団地名 (仮称)	住宅形態 (集合・戸建)	種別	戸 数			入居予定 時期
				2LDK (閑船は2DK)	3LDK (閑船、内郷は3 DK)	合 計	
久之浜地区	1 久之浜	集合	一般	60戸	60戸	120戸	平成27年2月
		戸建	一般	8戸	8戸	16戸	平成27年12月
四倉地区	2 四倉	集合	一般	50戸	50戸	100戸	平成26年7月(60) 平成26年10月(40)
			ペット	15戸	15戸	30戸	平成26年10月
		戸建	一般	10戸	11戸	21戸	平成26年10月
平地区	3 北白土	集合	一般	32戸 (内障害者2戸)	18戸	50戸	平成27年11月
	4 作町	集合	一般	25戸	20戸	45戸	平成26年10月
	5 沼ノ内	集合	一般	20戸	20戸	40戸	平成26年4月
	6 薄磯	集合	一般	45戸	40戸	85戸	平成26年6月(40) 平成26年10月(45)
		戸建	一般	9戸	9戸	18戸	平成26年10月
	7 豊間	集合	一般	69戸	69戸 (内障害者2戸)	138戸	平成26年6月(30) 平成26年10月(108)障
			ペット	15戸	15戸	30戸	平成26年10月
戸建		一般	12戸	12戸	24戸	平成26年10月	
内郷地区	8 内郷専用能通住宅	集合	一般	2戸 (内障害者2戸)	248戸	250戸	平成27年10月(125) 平成28年3月(125)障
常磐地区	9 常磐湯本	集合	一般	37戸 (内障害者2戸)	18戸	55戸	平成28年1月
			ペット	12戸	8戸	20戸	
		戸建	一般	6戸	7戸	13戸	平成27年11月
10 常磐閑船	集合	一般	16戸	16戸	32戸	平成26年3月1日入居 開始済	
小名浜地区	11 小名浜	集合	一般	67戸 (内障害者2戸)	58戸	125戸	平成27年11月
			ペット	15戸	25戸	40戸	
		戸建	一般	12戸	12戸	24戸	平成27年11月
勿来地区	12 佐糠第一	集合	一般	17戸 (内障害者2戸)	13戸	30戸	平成27年10月
	13 佐糠第二	集合	一般	12戸	8戸	20戸	平成27年10月
	14 錦	集合	一般	32戸	32戸	64戸	平成26年4月
	15 勿来四沢	集合	ペット	11戸 (内障害者1戸)	9戸	20戸	平成27年1月
		戸建	一般	19戸	11戸	30戸	平成27年12月
16 勿来関田	集合	一般	36戸	36戸	72戸	平成27年1月	
合 計				664戸	848戸	1,512戸	

各団地の進捗状況について

平成 26 年 3 月 13 日現在

地区名等		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
久之浜	①久之浜 136 戸	集合住宅造成工事	集合住宅建築工事	H27. 2 入居開始予定	
			戸建住宅造成工事	戸建住宅建築工事	H27. 12 入居開始予定
四倉	②四倉 151 戸	造成工事	集合住宅(1・2号棟)建築工事	H26. 7 入居開始予定	
			集合住宅(3・4号棟)及び戸建住宅建築工事	H26. 10 入居開始予定	
平	③北白土 50 戸	造成工事設計・造成工事	集合住宅建築工事	H27. 11 入居開始予定	
	④作町 45 戸	集合住宅建築工事	H26. 10 入居開始予定		
	⑤沼ノ内 40 戸	集合住宅建築工事	H26. 4 入居開始予定		
⑥薄磯 103 戸	造成工事	集合住宅(1号棟)建築工事	H26. 6 入居開始予定		
		集合住宅(2号棟)及び戸建住宅建築工事	H26. 10 入居開始予定		
⑦豊間 192 戸	造成工事	集合住宅(6号棟)建築工事	H26. 6 入居開始予定		
		集合住宅(1~5号棟)及び戸建住宅建築工事	H26. 10 入居開始予定		
内郷	⑧内郷雇用 促進住宅 250 戸		修繕必要箇所調査、設計	第一工区修繕工事	H27. 10 入居開始予定
				第二工区修繕工事	H28. 3 入居開始予定
常磐	⑨常磐湯本 88 戸	造成工事	集合住宅建築工事	H28. 1 入居開始予定	
			戸建住宅建築工事	H27. 11 入居開始予定	
⑩常磐関船 32 戸	集合住宅建築工事	H26. 3. 1 入居開始			
小名浜	⑪小名浜 189 戸	造成工事	集合住宅及び戸建住宅建築工事	H27. 11 入居開始予定	
勿来	⑫佐糠第一 30 戸		集合住宅建築工事	H27. 10 入居開始予定	
	⑬佐糠第二 20 戸	造成工事	集合住宅建築工事	H27. 10 入居開始予定	
	⑭錦 64 戸	集合住宅建築工事	H26. 4 入居開始予定		
⑮勿来四沢 50 戸	造成工事	集合住宅建築工事	H27. 1 入居開始予定		
		戸建住宅建築工事	H27. 12 入居開始予定		
⑯勿来関田 72 戸	集合住宅建築工事	H27. 1 入居開始予定			
計	1,512 戸				

いわき市災害公営住宅の特徴

【住宅の仕様】

● バリアフリーへの配慮

高齢化社会への対応とするため、集合棟において、床段差の解消のためスロープやエレベーターを整備。併せて階段・廊下等には手摺を設置。

住戸内では床段差の解消や玄関・トイレ・浴室・廊下などに手摺を設置するとともに、廊下や、トイレの幅を十分に確保。

● 断熱性能

次世代省エネ基準に適合した断熱性能を確保。

● 遮音性能の確保

住戸間の壁や床については、鉄筋コンクリート造とすることにより、十分な遮音性能を確保。

● 維持・管理への配慮

集合棟については、耐久性が高い鉄筋コンクリート造とし、給排水・ガス設備等の配管についても、点検口の設置や、さや管工法の採用など、容易に維持管理が可能な対策を講じている。

【参考】

○ ペット住棟

集合住宅棟を複数等整備する規模の大きな団地において、ペットの飼育が可能な専用の住棟を整備。

○ 駐車場

駐車台数は、一世帯当たり1台以上を整備。

○ 戸建住宅

供給戸数の約1割となる146戸を整備。

○ 住戸規模

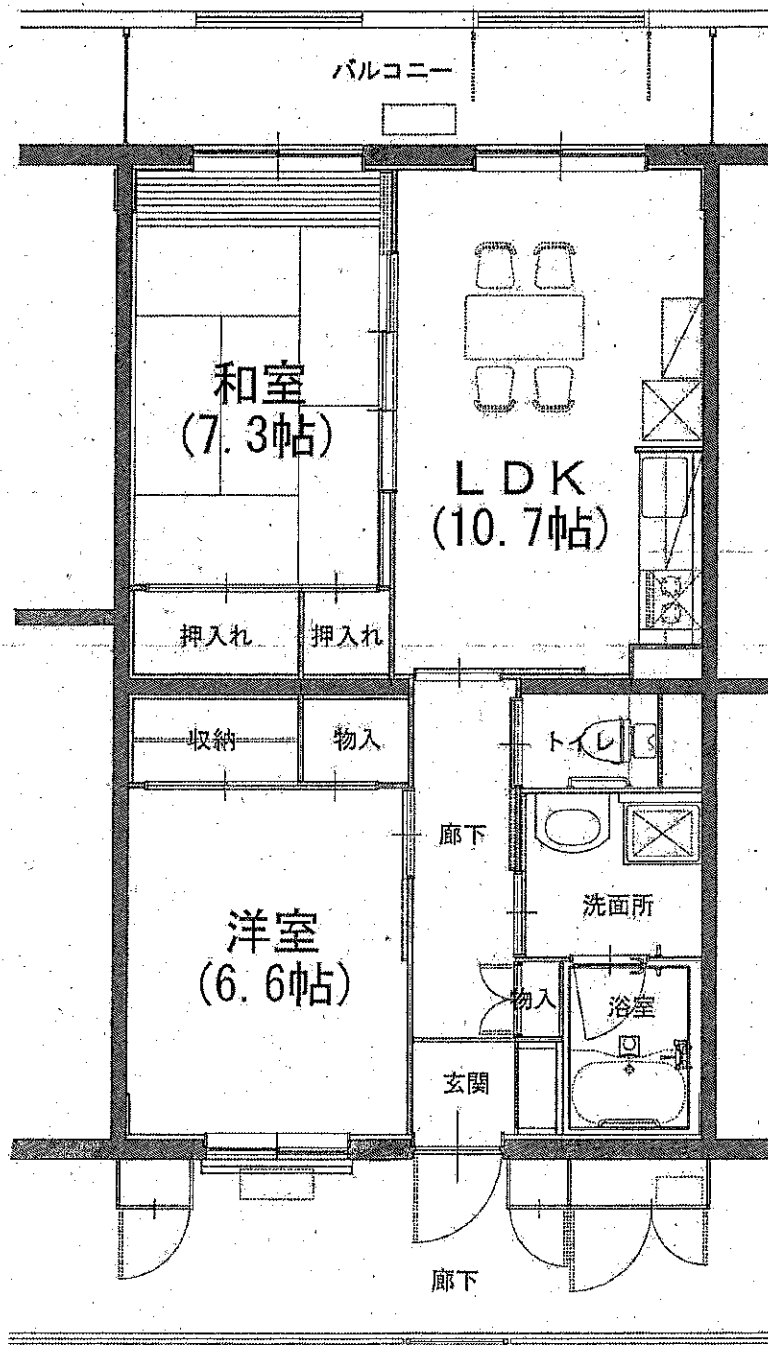
2人世帯までを対象とした2LDK(約60㎡)、3人世帯以上を対象とした3LDK(約75㎡)の2タイプを整備。

○ その他の施設

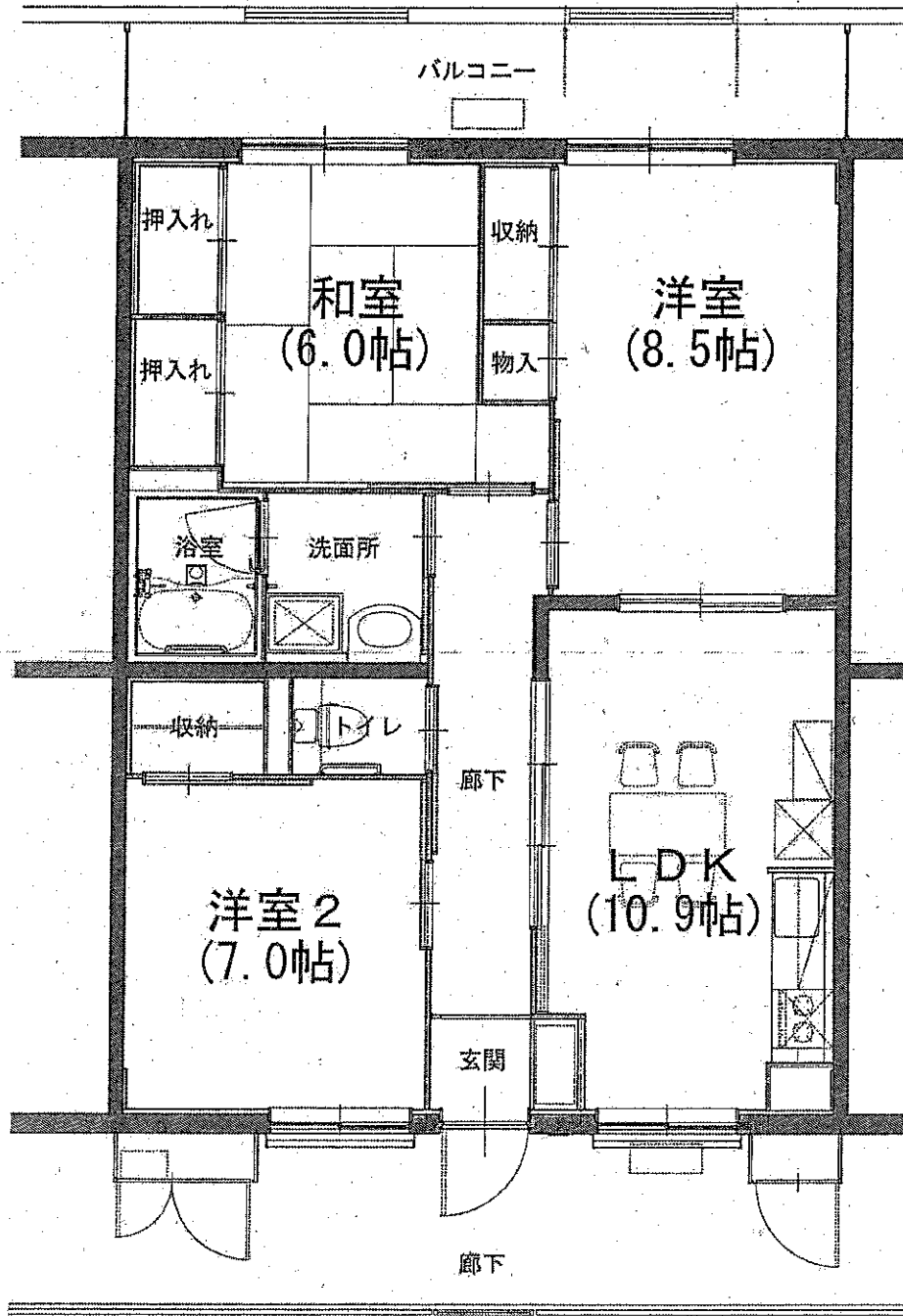
自転車置場や世帯ごとの屋外物置、児童遊園を整備。

周辺に集会施設がない団地については、集会所を整備。

2LDK間取り図
住戸専用面積 約60.00m²



3LDK間取り図
住戸専用面積 約75.00㎡



災害公営住宅申込、受理及び内定結果について

1 内定件数等内訳

整備戸数 A	申込件数 (①+②)	受理件数① (ア+イ)		不受理・取 下げ件数②	空き 戸数 (A-ア)
		内定件数 ア	非内定件数 イ		
※ <u>1,512</u>	1,496	1,396	<u>1,209</u>	187	303

2 今後の予定

4月以降に二次募集を予定する。

なお、非内定者については、募集の通知を予定する。